

学校運営協議会だより

令和2年12月9日

第4回学校運営協議会より

第4回の学校運営協議会は、令和2年11月24日（火）、校内の授業参観後、14：40～行われました。

おもな協議内容を紹介します。

1 学校の様子について

(1) 授業を参観して

- ・ 心の中にスムーズに入る授業展開だった。
- ・ 問いかけやキーワード提示に工夫があった。
- ・ めあてと目標を明確にすることが大切。
- ・ 英語の授業では自然な発音が児童に浸透していると感じた。
- ・ ホワイトボードの授業もよいと思った。
- ・ 音楽の授業ではフェイスシールドでリコーダーを演奏していた。音楽の授業ではやはりフェイスシールドやマスク着用が必要。
- ・ 個人新聞の形式でまとめる学習はよいと思う。
- ・ 掲示物に工夫が見られた。
- ・ コの字型の対面授業は子どもに意見が出しやすい。
- ・ 書く授業展開も必要。ICT利用場面との両立を図りたい。
- ・ Chromebookの文字が小さいと感じた。

(2) 子どもたちの様子

(地域から)

- ・ 児童の朝の挨拶が徐々に増えている。
- ・ 算所郵便局前（交差点改良要望中）の旗当番に感謝したい。
- ・ 地域ボランティアの協力人数が不足している。横断歩道での安全指導上、必要。

(3) 清和小学校での諸課題について

- ・ 様々な事象があるが、今後も複数教員による見守りや、個々の児童へのサポートが必要。

2 鈴鹿市教育委員会アドバイザーより

- ・ 児童がよく挨拶できるようになった。各種行事もスムーズに行ってもらった。
- ・ 多くの大人が児童を観ることで状況が改善していく。保護者や地域の力を借りることは大切。地域の力を結集し、今後も学校を支えてほしい。